

島根県立 古代出雲歴史博物館 NEWS

2008.JUL vol. **6**



夏号

CONTENTS

- 2・3 特別展「聖地★巡礼」
- 4・5 秋の企画展だより／展示室から／古代文化センターだより
- 6・7 学芸員通信／古代出雲歴博周辺今昔／博物館の体験活動紹介
- 8 企画展スケジュール／お知らせなど

「神々の国」の聖地から世界の巡礼を観る

特別展

聖地★巡礼

自分探しの旅へ

旅の自分探しへ



「その長く険しい
けれども
美しい巡礼路で
人に出会い
そして
自分の人生に
出会う。」

「人はなぜ、何を
求めて、
巡礼に
出るのでしょうか。」



2008年
7月26日[土] - 9月15日[月]

特別展



聖地★巡礼

自分探し
の旅へ



「神々の国」の聖地から世界の巡礼を観る

1 サンチャゴ・デ・コンポステラ★巡礼

スペインのコンポステラ大聖堂に向かう巡礼で、コンポステラの旧市街およびそこへの巡礼路は世界遺産に登録され、同じ世界遺産の熊野古道とは姉妹友好路となっています。フランスのル・ピュイからの距離はおよそ1400キロ。この路を50日かけて歩んだ一人のフランス人 ミッシェル・ラヴェドリンの姿を追ったドキュメンタリー映像を通して、巡礼の意味を探ります。コンク、ブルゴス、レオンなど巡礼路上の場所ごとに展示される20数編の短編映像を見ながら展示室を巡ることによって、まるで実際に巡礼路を歩んだような気持ちとなることでしょう。



コンポステラ大聖堂

聖ヤコブと巡礼

コラム

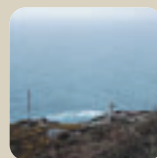
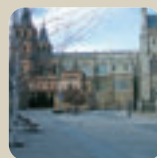
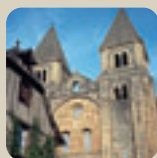
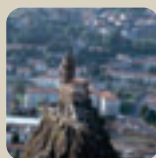
コンポステラ大聖堂は十二使徒の一人である聖ヤコブを祀る巡礼教会。9世紀初めに聖ヤコブの墓が発見されたことにより教会が建てられ、ヨーロッパに2つしかない十二使徒の墓がある場所として多くの巡礼者を集めています。この背景にある聖ヤコブに対する信仰を紹介します。



巡礼者聖ヤコブ
(長崎県美術館蔵)



聖ヤコブへのエル・ピュールの
聖母の出現(長崎県美術館蔵)



2 聖地ルルド—聖母マリアの奇跡—



ルルド大聖堂

聖母信仰と聖母出現

コラム

ルルドにおいて、教会が聖母の出現を事実と捉えた理由に、それまでの聖母出現の前列や、聖母が「無原罪の宿り」と告げたことなどが挙げられます。ここでは、無原罪の聖母信仰を中心に、ルルドの聖母出現が一般に受容された背景にある聖母信仰を紹介します。



悲しみの聖母(長崎県美術館蔵)



無原罪の御宿りの聖母
(長崎県美術館蔵)



ラ・サレット全景

1858年、フランスの小さな町ルルドで、14才の少女ベルナデッタの前に聖母が出現し、洞窟内に泉が出現することや、自分のことを「無原罪の宿り」であることを告げたとされています。泉などを通して病氣治癒などの奇跡がおこり、今では年間500万人の巡礼者・観光客を迎える聖地に発展しています。その様子を映像を中心に紹介します。

世界各地に、信仰者にとって特別な意味がある場所＝聖地が存在します。そしてそこへ参拝・巡礼することは、その人にとって特別な体験となります。

一体、聖地とは、そしてそこへの巡礼とはどのような意味があるのでしょうか。キリスト教（カトリック）三大聖地の一つサンチャゴ・デ・コンポステラ（スペイン）、聖母巡礼教会の一つルルド（フランス）、熊野、伊勢、西国巡礼、お遍路など海外を含めた多くの聖地と巡礼を紹介しながら、聖地と巡礼の意味に迫ります。

（この特別展は映像を中心とした展示です。時間にゆとりをもってお越しください。）

3 祈り—日本の聖地・巡礼—

日本では、熊野参詣、伊勢参宮、西国巡礼など様々な巡礼が行われています。これらの巡礼は、どのような心情から、またどのような契機から行われたのでしょうか。巡礼者と聖地とを結びつけた宗教的職能者の活動を中心に紹介します。



熊野観心十界図(正覚寺(新宮市)蔵・写真提供:和歌山県立博物館)



銅製経筒(八幡宮(大田市)蔵)



神楽之図(一部・出雲大社教蔵)



熊野那智参詣曼荼羅(國學院大學図書館蔵)

4 四国巡礼—お遍路さんの白装束—

四国では、今でも札所を弘法大師が巡っているとされ、お遍路を行うことで、弘法大師の功德を得られると信じられています。人々はなぜ、お遍路を行うのでしょうか。

5 霊山 恐山

東北地方では「死ねば恐山」に行くといわれます。その恐山では夏・秋の大祭時に多くの参詣者を迎えます。また、イタコが死者の霊を降ろす「口寄せ」が行われ、死者の声を聞きます。参詣者にとって恐山はいわば生きながらにして死後の世界が体験できる聖地なのです。

【会期】平成20年 7月26日(土)～平成20年 9月15日(月)

【会場】島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室

【入場料金】一般 (1,000円)・大学生 (500円)・小中高生 (300円)

【主催】島根県立古代出雲歴史博物館、国立民族学博物館、財団法人千里文化財団、財団法人自治総合センター

【後援】出雲国「社寺縁座の会」ほか。※この展示は、宝くじの普及広報事業費により実施しています。

特別展特別講座

平成20年7月26日(土) 13:00～15:00

「サンチャゴ・デ・コンポステラへの巡礼」

彫刻家 池田宗弘・立命館大学教授 大森康宏

平成20年8月2日(土) 13:00～15:00

「絵解き—熊野参詣曼荼羅—」

新宮市教育委員会 山本殖生

平成20年8月23日(土) 13:00～15:00

「学芸員珍道中 聖母出現地をめぐる」

古代出雲歴史博物館 専門学芸員 品川知彦

【定員】各回先着100名

【申込】電話・FAX、WEBページのイベント参加フォームにて受付。定員になり次第締切とさせていただきます。

関連企画

ナイトシアター

「サン・ジャックへの道」

フランスからスペインへ1500キロ。世界遺産サンチャゴ・デ・コンポステラへ向かう心の旅（フランス映画／監督・脚本 コリーヌ・セロー）



日時 平成20年8月2日(土)・8月3日(日)

19:30～21:30 (両日とも定員50名・無料)

場所 島根県立古代出雲歴史博物館 神話シアター

【申込】電話・FAX、WEBページのイベント参加フォームにて受付。定員になり次第締切とさせていただきます。

秋の
企画展

『秘仏への旅』

—出雲・石見の観音巡礼—

近畿圏を中心に三十三の観音霊場を順にめぐる「西国三十三所」は平安時代に始まり、室町時代以降とくに盛んになりました。これにならい、江戸時代には島根県の出雲地方・石見地方でも三十三か所の観音巡礼が行われました。

この企画展では出雲・石見の観音霊場の本尊像や貴重な文化財が一堂に会します。通常は寺院でも拝観することのできない秘仏も特別に公開されるまたとない機会です。ぜひお見逃しなく。重要文化財11点を含む展示総数約70点。

会期 平成20年
10月4日(土)～11月30日(日)

会場 島根県立古代出雲歴史博物館
特別展示室



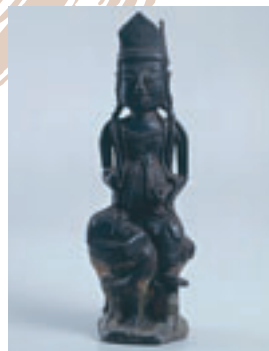
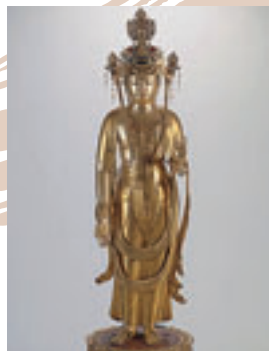
銅造観音菩薩立像 出雲市・鰐淵寺蔵 692年



上段左から 木造十一面観音菩薩立像（安来市・清水寺蔵 平安時代）、絹本着色聖観音像（雲南市・峯寺蔵 平安時代）
下段左から 木造観音菩薩立像（浜田市・安国寺蔵 平安時代）、銅造観音菩薩坐像（江津市・福泉寺蔵 統一新羅時代）、木造不動明王坐像（神奈川県・極楽寺蔵 平安時代）

□展示構成

| | |
|-------|----------|
| プロローグ | 西国三十三所 |
| 第1章 | 出雲の観音巡礼 |
| 第2章 | 石見の観音巡礼 |
| エピローグ | 現在の島根の巡礼 |

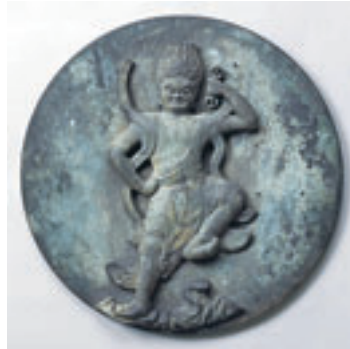


■主催：島根県立古代出雲歴史博物館 ■特別協力：出雲三十三観音霊場会 石見曼荼羅観音霊場会
■後援(予定)：出雲の国「社寺縁座の会」 中国観音霊場会 他

懸 仏(かけほとけ)

— 神仏習合から生まれた造形美 —

日本人は鏡の中に神仏が宿っていると考え、鏡そのものを信仰の対象としました。平安時代にその神仏の姿を鏡の表面に毛彫りしたものや、レリーフ状に作って張り付けたものが現れます。前者が鏡像(きょうぞう)、後者が懸仏(かけほとけ)です。今回は重要文化財も含む懸仏を7面展示します。日本独自の造形美をお楽しみ下さい。9月15日まで。



重要文化財
蔵王権現懸仏(出雲市・法王寺蔵)

[古代文化センターだより]

「神のすがた・かたちを探る」

岡 宏 三 専門研究員

古代出雲歴博のキャラは「雲太」ちゃんと「出雲」ちゃん。島根県警は「みこぴー」、島根県にちなむキャラクターを思い浮かべてみると、大かた神話の神様がモチーフになっていますね。例外的なのは、しまねSUPER大使の「吉田君」(雲南市吉田町出身。出雲市平田町で育ち、東京を拠点に大活躍)でしょうか。

それはさておき、一般に現在の私たちが抱く神様のイメージは、髪をみずらに結び、勾玉を首にかけた古代の豪族のイメージではないでしょうか。ところが「神様=古代豪族のイメージ」というのは、実はおよそ1世紀前、明治時代の中頃にできあがったものなのです。

たとえばスサノヲのミコトは、現代のマンガなどでは古代の英雄の姿などに表現されることが多いようですが、有名な八重垣神社の板絵では、衣冠束帯を身に著けた貴人の姿であらわされています。ところが寺院では、「スサノヲ=牛頭天王」と考えられ、仏教風の衣裳や異国風の甲冑をまとった姿で表されたりしました。かと思えば、江戸時代には髪を結わない、ボサボサの頭で表現されることも珍しくありませんでした。

元来日本の神様には、キリスト教のイエスやマリア、仏教の仏や菩薩、諸天のような、あらかじめ固定されたイメージは存在しませんでした。むしろ常人の目にはみえない畏れ多い存在で、時に人や動物、木石などに憑依して託宣し、神意を告げる存在と捉えられていました。それゆえに、仏教の影響を受けて神様も絵や像などで表すようになってからも、我々の先祖たちはいかにして我々常人とは異なる超越した存在であるかを表現したらいいか葛藤してきたのです。この結果、スサノヲのミコトにみるような、多様な神のすがた・かたちの表現が悠久の時代の流れのなかで培われ、蓄積されてきたのでした。

現在古代文化センターでは、このような他国にほとんど例をみない、古代から現代にいたる我が国における神のすがた・かたちのイメージの変遷をたどることによって、神に対する日本文化のここを探る研究を進めています。その成果は平成22年に企画展としてご紹介する予定になっています。



五雲亭貞秀 素盞鳴尊
悪神退治之図

おすすめします。『博物館を楽しむ、とっておきパスポート』



- ①いつでも(四季折々)・どれでも(企画展・特別展・特集展など)・なんどでも、博物館を楽しめます。この通行手形で、あなたも「博物館通」「古代出雲の案内人」になれます。
- ②提携しています県内外の博物館・美術館の優待が受けられます。
- ③ブロンズ会員の方は、ショップ・カフェの割引など、うれしい「だんだんサービス」が受けられます。

※パスポート優待提携ミュージアム施設

県内：和鋼博物館・島根県立美術館・宍道菟古館・宍道湖自然館ゴビウス・しまね花の郷・荒神谷博物館・三瓶自然館サヒメル・小豆原埋没林公園・仁摩サントミュージアム・石正美術館・雪舟の郷記念館・萬福寺雪舟庭園・医光寺雪舟庭園・島根県立石見美術館・益田市立歴史民俗資料館・足立美術館
県外：大原美術館(倉敷)、ひろしま美術館(広島市)、サントリー美術館(東京都)、広島県立美術館(広島市)、広島市現代美術館(広島市)、尾道市立美術館・サントリーミュージアム(大阪市)、とっとり花回廊

来館者50万人目達成！

～開館から、434日目。

5月16日、平成19年3月10日の開館以来の来館者数が、434日目で、記念すべき50万人を数えました。50万人目となられた山口市の坂田俊平さん・生子さんご夫妻は、出雲大社の本殿特別拝観にあわせて来館されたとのこと。「皆さまに愛される、より素晴らしい博物館へ」一輝かしい祝福の日でもあり、新たなスタートの日ともなりました。



[学芸員通信]

『遺産を守る』～博物館のもうひとつの仕事～

専門学芸員 岡 宏三

R
E
S
E
A
R
C
H

一般に、博物館は「展示品を見るところ」というイメージがあるのではないのでしょうか。それは間違いではないのですが、実はもう一つ大きな役割があります。

世の中には貴重な資料がたくさん伝来しています。ところが火災や水害などで破損したり、廃棄されたり、盗難などによって失われることが珍しくないのが現状です。近年特に増加しているのは放火と盗難事件です。代々守り伝えられてきた個人や寺社の貴重な仏像や掛け軸が盗難に遭い、見つかった時には国内や国外で転売されていた、というケースも少なくありません。窃盗者を摘発して回収できればいいのですが、第三者が転売されたものを盗品とは知らずに購入していた場合（善意の取得）は、相手の同意が得られないと、返還してもらえない可能性は極めて低くなります。

先日、ある寺院が火災に遭ったニュースのなかで、みのもんたさんがしみじみと「博物館は、文化財という財産を守る機能も果たしているんですよ」と言っておられました。まさにそのとおりで、博物館の「もう一つ大きな役割」とは、文化財をはじめとする貴重な資料を、火災や盗難などから守り、責任をもって後世に伝える役割なのです。

古代出雲歴史博物館の展示室は24時間監視されています。収蔵庫は頑丈な扉で施錠してあるだけでなく、専用のカードと暗証番号なくしては入れないシステムになっています。少しでもよりよい環境で保存するために、展示ケース・収蔵庫ともに年中温湿度を一定に保っています。

よく「展示ケースが薄暗い」「以前展示してあったものが、今回ははずされている」というご指摘をいただきますが、これも長期にわたって照明にあたることによる日焼けを防ぐためです。

言い方を変えれば、博物館で国宝や重要文化財をごらんいただけるのは、こうしたセキュリティと保存環境を維持している信頼があるからなのです。



ぶ厚い扉で管理された収蔵庫

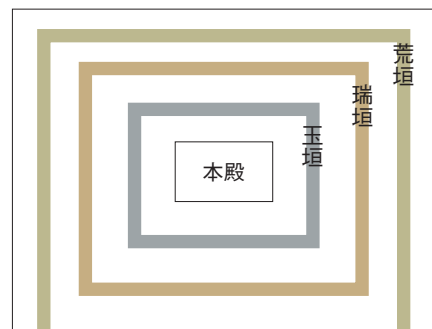
こ だ い い す も れ き は く ま わ り の い ま わ か し
[古代出雲歴博周辺今昔]

たまがき みずがき あらがき
玉垣・瑞垣・荒垣

神社の参拝にあたっては何よりも清浄であることが求められます。心身を清めた

上でなくては神様は、願い事を叶えてはいただけません。

出雲大社御本殿の周囲には三重に垣が廻らされており、外から内へ順に「荒垣」、「瑞垣」、「玉垣」と呼ばれています。荒垣は神域を囲っており、中に入るには手水舎で手を洗い、口を嗽いで心身を清めます。瑞垣内に入るにはお祓いを受けることが必要です。玉垣内には潔斎をした神職しか入れないのが原則とされています。仮殿遷宮で神様はご不在とはいえ、御本殿の拝観にはくれぐれも失礼のないように心配りをしましょう。（ふるさと案内人 馬庭孝司）



出雲大社御本殿の周囲の三重の垣 玉垣・瑞垣・荒垣

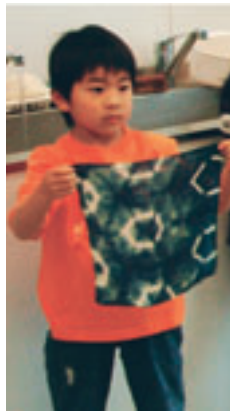
体験工房だより

はくぶつかん^{たい けん がく}体・験・楽



あいぞ ^{たいけん}
藍染め体験

企画展「よみがえる幻の染色」にあ
わせたミニ体験をしました。



たいけん
トールペイント体験



こだいまい
古代米クッキング



まがらま
勾玉づくり

●●●● 夏の博物館^{たいけん}体験楽・探検^{たんけん}楽のご案内 ●●●●

今年の夏休みの、古代出雲歴史博物館の「体験楽」「探検楽」のメニューです。

● 夏休み “はくぶつかん体験楽” 『れきはく体験工房』 ●

7月27日(日)

■ 勾玉づくり体験

①10:30~12:00 ②14:00~15:30
各回定員25名・参加費350円

■ 藍染め体験

①11:00~12:00 ②15:00~16:00
各回定員25名・参加費350円

8月23日(土)

■ 雲太くんのトールペイント体験

10:00~12:00
定員20名・参加費500円

■ 出雲ちゃんの古代米クッキング

14:00~16:00
定員10名・参加費600円

事前に、希望する体験内容・日時を指定して予約してください。定員になり次第締め切らせていただきます。(電話・ファックス・メール・博物館で直接申し込みください。)

● 夏休み “はくぶつかん探検楽”

『古代出雲れきはく探検クイズラリー』 ●

7月19日(土)~8月31日(日)

夏休み期間中、毎日開催!
(8月19日の休館日はのぞく)

博物館内に、クイズポイントを設置します。
謎解きをしながら、博物館を楽しんでいただけます。
どなたでも、参加できます。

特典1 クイズラリー参加の小学生は、
常設展観覧料無料!

特典2 参加者には、たのしい・うれしい
記念グッズをプレゼント!

全問正解者には、
お楽しみだんだん
プレゼント。

この夏、「古代出雲歴博」へ—自分探しの旅。

ここには、根っこがあります。

出雲大社の神苑に連なる広大な博物館の庭は、ゆったりとしたご馳走。昔の人たちのエネルギーが漲っている「宇豆柱」や「青銅器」は、圧倒的なパワースポットです。出雲大社の遷宮で、古代出雲歴史博物館の展示が、あらためて注目されています。荒神谷の銅剣につづいて国宝に指定された「加茂岩倉の銅鐸」も、脚光を浴びています。ここは、ルーツをまなび、源流にふれるところ。そして、元気になる場所です。

日本の源流にふれる島根の歴史と文化を一堂に展示しています。

博物館のご縁物語 “だんだんストーリー”

たたら伝説と大社神殿をものがたる桂の並木道は、ご縁をよぶハートフルロード。かわいいハート形の対葉の桂の葉っぱは、ご縁のしるし。出雲大社のとりの新名所。古代神殿の階段を連想させるだんだんロード。秋から始まるテレビ小説「だんだん」にふさわしい舞台です。(写真は、5月連休の「桂まつり」の様子です。)

平成20年7月26日(土)～9月15日(月)

特別展 聖地★巡礼—自分探しの旅へ—

特別展観覧料：一般1,000円(800円)、大学生500円(400円)、小中高生300円(240円)
常設展とセット：一般1,300円(1,040円)、大学生700円(560円)、小中高生400円(320円)

平成20年10月4日(土)～11月30日(日)

企画展 秘仏への旅—出雲・石見の観音巡礼—

企画展観覧料：一般700円(560円)、大学生400円(320円)、小中高生200円(160円)
常設展とセット：一般1,000円(800円)、大学生600円(480円)、小中高生300円(240円)

平成20年12月20日(土)～平成21年2月15日(日)

特集展 発掘! 斐伊川3万年の流れ—尾原ダム地内の遺跡—

※特集展は常設展チケットで観覧できます。

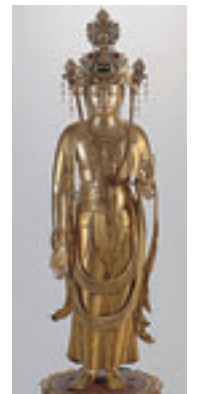
平成21年3月7日(土)～5月17日(日)

企画展 輝く出雲ブランド—古代出雲の玉作り—(仮)



コンポステラ大聖堂

特別展 聖地★巡礼—自分探しの旅へ—



木造観音菩薩立像
安国寺蔵

企画展 秘仏への旅—出雲・石見の観音巡礼—

特別展
「聖地★巡礼」協賛
探訪ツアーのご案内

“祈りの道” 熊野古道を歩く2日間

実施日程：平成20年9月26日(金)～9月27日(土) ■募集人数：35名(最少催行人数20名)

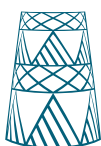
■ツアー費用：31,000円(◆全日程貸切バス利用(バスガイド付)。◆熊野古道(約7km)を歩きます。◆泊りは勝浦温泉‘ホテル浦島’) ■取扱旅行社：(株)一畑トラベルサービス/近畿日本ツーリスト(株)

スペイン巡礼《サンチャゴ・デ・コンポステラ》9日間の旅

実施日程：平成20年10月12日(日)～10月20日(月) ■募集人数：30名(最少催行人数20名)

■ツアー費用：443,000円(諸経費込み) ◆出雲空港発着。◆添乗員は成田空港から全行程同行します。◆出発前日、成田のホテルに講師を招き事前講習会開催。◆憧れのパドールに一泊します。 ◆取扱旅行社：近畿日本ツーリスト(株)/(株)一畑トラベルサービス

発行/平成20年7月



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL.0853-53-8600(代) FAX.0853-53-5350
URL: http://www.izm.ed.jp
E-mail: contact@izm.ed.jp



マスコットキャラクター
雲太くん



マスコットキャラクター
出雲ちゃん